若きクロード・モネを導いた
画家ウジェーヌ・ブーダン、
30年ぶりの回顧展



Eugène Boudin

maître de l'instantanéité

ウジェーヌ・ブーダン展

印象派の父――光を求めて

2026.11|28(SAT) – 2027.1|31(SUN)

開館時間｜午前9時30分 – 午後5時（入館は午後4時30分まで）
休 館 日｜月曜日（12/7、12/14、1/11を除く）、
年末年始（12/28～1/4）、1/12㊋

主催｜群馬県立近代美術館　協力｜日本航空　後援｜在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ
監修｜ローラン・マヌーヴル　企画協力｜ブレーントラスト
群馬県立近代美術館　〒370-1293　高崎市綿貫町992-1
Tel. 027-346-5560　Fax. 027-346-4064　https://mmag.pref.gunma.jp/

群馬県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA

AMBASSADE DE FRANCE AU JAPON
Liberté Égalité Fraternité

INSTITUT FRANÇAIS
アンスティチュ・フランセ

本展は、「印象派の先駆者」「印象派の父」と呼ばれる19世紀フランスの画家ウジェーヌ・ブーダン(1824-1898)の画業を紹介する展覧会です。ブーダンは故郷ノルマンディーの空、海景、牧場の牛などをみずみずしい色彩と軽快な筆運びで表現しました。戸外で自然をじかに観察しながら、うつろいやすい光や大気を描写する制作手法は、若きクロード・モネをはじめとする当時の画家たちに大きな影響を与え、やがて印象派の誕生につながっていきます。特に空や雲の表現は詩人ボードレールに「気象学的美の世界」と評され、バルビゾン派の画家コローに「空の王者」と称賛されています。日本では30年ぶりの本格的な展覧会となる今回は、人物や建築モチーフなどにも焦点を当てつつ、油彩、素描、パステル、版画などの約100点の作品により近代風景画の発展に大きく寄与したブーダンの魅力を新たな視点で問い直します。

Eugène Boudin

ウジェーヌ・ブーダン略歴

1824年ノルマンディー地方の港町オンフルールに生まれ、青年期をル・アーヴルで過ごす。20歳の頃に友人と画材店を開くと、店を訪れるバルビゾン派の画家たちとの交流のなかで絵の道を志すようになる。生涯の多くをノルマンディー地方で過ごし、風景画や海景画を中心に制作した。表情豊かな空を画面に大きく取り込み、光の微妙な変化を捉えたブーダンの作風はカミーユ・コローやシャルル・ボードレールに絶賛された。1898年にドーヴィルで没する。



本展のみどころ

1
8つの切り口で
ブーダンを多角的に
再考します。

ノルマンディーの海岸を描いた海の情景が良く知られているブーダンですが、本展では「海景」「空」「風景」「建築」「動物」「人物」「素描」「版画」という8つのテーマでブーダンの魅力に迫ります。

2
フランスから
油彩、素描、
パステル、版画、
約100点が来日します。

初期から晩年にいたるブーダンの画業全体を、約100点を通じてご紹介するとともに、素描やオイルスケッチによって、自然が垣間見せる「瞬間」の美を追い求めたブーダンの制作プロセスにも着目します。

3
印象派誕生から150年。
ブーダンの功績と
革新性を再発見します。

クロード・モネの師として知られるブーダン。印象派誕生から150年、そしてブーダン生誕200年を経た今、印象派に先駆けて戸外制作による自然の臨場感をとらえようとしたブーダンの革新性を再検証する、またとない機会です。



1



2



3



4



5



6



7

1. 《ベルク、出航》1890年 油彩／カンヴァス 79×110.2cm
ランス美術館(inv.907.19.34)C. DEVLEESCHAUWER©
2. 《トルーヴィル街道、ル・ビュタン近郊》1860-63年 油彩／カンヴァス 57×83cm
ウジェーヌ・ブーダン美術館、オンフルール Honfleur, musée Eugène-Boudin / Illustria
3. 《ドゥアルヌネ湾(フィニステール)のサンタンヌ=ラ=パリュのパルドン祭》1858年油彩／カンヴァス
87×146.5cm アンドレ・マルロー近代美術館、ル・アーヴル © MuMa Le Havre / Florian Kleinefenn
4. 《ル・クロワジック》1897年 油彩／カンヴァス 50.5×74.5cm
アンドレ・マルロー近代美術館、ル・アーヴル © MuMa Le Havre / Florian Kleinefenn
5. 《人物のある風景(ブーダン夫人とモネ一家)》1875-77年頃 油彩／板 26.5×35.2cm ウジェーヌ・ブーダン美術館、オンフルール Honfleur, musée Eugène-Boudin / Henri Brauner
6. 《水飲み場の牛の群れ》1880年 油彩／カンヴァス 79.3×109.6cm ランス美術館(inv.907.19.33) C. DEVLEESCHAUWER©
7. 《トルーヴィルの海岸の貴婦人(トルーヴィルの海岸のメッテルニヒ夫人)》1863年 水彩・鉛筆／紙 17×24.3cm 個人蔵、ノルマンディー
左頁. 《オンフルール、聖カトリーヌ教会の鐘楼》1897年頃 油彩／板 55×43cm ウジェーヌ・ブーダン美術館、オンフルール Honfleur, musée Eugène-Boudin / Illustria



観覧料

一般：1,200(960)円	
大高生：600(480)円	

＊(　)内は20名以上の団体割引料金
＊中学生以下、障害者手帳等をお持ちの方とその付添１名は無料
＊インターネット割引券またはちらし割引券どちらかをご提示で、2名様まで100円割引でご覧になれます。他の割引とは併用できません。インターネット割引券は当館のInstagram、X、Facebookに掲載されます。

ミュージアム・レクチャー　※2F講堂、申込不要(定員200名)、要観覧券

1
2027.1|9(土)
午後２時 − ３時30分
ウジェーヌ・ブーダン
――風景画を変えた画家
講師：岡坂桜子氏(SOMPO美術館主任学芸員)

2
2027.1|17(日)
午後２時 − ３時30分
ブーダンと印象派
講師：村上博哉(当館特別館長・武蔵野美術大学教授)

3
2027.1|27(水)
午後２時 − ３時30分
学芸員による
作品解説会[レクチャー]
講師：佐藤聖子(本展担当学芸員)

学芸員による作品解説会［ギャラリートーク］　※展覧会会場、申込不要、要観覧券

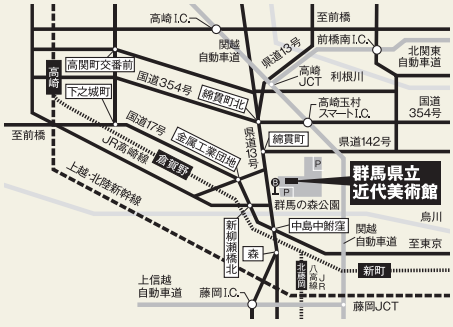
2026.12|12(土)、12|23(水)、2027.1|11(月・祝)　各日午後２時 − ３時

コレクション展示案内
●「日本と西洋の近代美術Ⅱ」
11月20日(金)−12月20日(日)
●「日本と西洋の近代美術Ⅲ」
12月22日(火)−2027年4月4日(日)
当館コレクションより印象派のクロード・モネやカミーユ・ピサロの作品を展示します。あわせてご覧ください。

同時期開催 展覧会案内
群馬青年ビエンナーレ
50周年記念特別賞 受賞作家展
郭 家伶
2027年1月23日(土)
− 4月4日(日)

次回展覧会案内
歌川豊国と歌川派の
浮世絵展
−国貞も国芳も、はじまりは豊国−
2027年2月20日(土)
−4月4日(日)

群馬県立館林美術館のご案内
テキスタイル・
アートを楽しむ
−現代の糸、布、繊維の芸術−
2026年10月10日(土)
−12月13日(日)



● **電車・バス** …… JR高崎線・湘南新宿ライン・上野東京ラインまたは上越・北陸新幹線で高崎駅下車(新幹線は東京駅より約60分)。JR高崎駅東口より市内循環バスぐるりん 9、10、15系統で約30分、「群馬の森」下車(200円)。

● **タクシー** …… JR高崎駅東口より約20分。JR倉賀野駅より約10分。JR新町駅より約10分。

● **車** …… 関越自動車道「高崎玉村スマートI.C.」(ETCのみ)より高崎方面に向かい、県道13号を藤岡方面に約8分。上信越自動車道の「藤岡I.C.」高崎方面出口より出て、県道13号を前橋方面に約10分。北関東自動車道「前橋南I.C.」より県道13号に出て藤岡方面に約15分。県立公園「アイ・ディー・エー群馬の森」駐車場をご利用ください(無料)。

〒370-1293　高崎市綿貫町992-1　Tel. 027-346-5560　Fax. 027-346-4064

群馬県立近代美術館
THE MUSEUM OF MODERN ART, GUNMA

表紙図版：《干潮》(部分)1884年 油彩／カンヴァス 117×161cm
サン＝ロー美術館　© Musée d'art et d'histoire de Saint-Lô, Pierre-Yves Le Meur
裏表紙図版：《ヴェネツィア、サン・ジョルジョ・マッジョーレ》1895年頃 油彩／板 20.5×39.6cm
ランス美術館(inv.907.19.38)C. DEVLEESCHAUWER©